

期 間 入 札 の 公 告

令和 8年 7月30日

横浜地方裁判所第3民事部

裁判所書記官 岡 村 乾

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 8年 9月 1日から 令和 8年 9月 8日 午後 5時00分まで
開札期日	日 時 令和 8年 9月15日 午前10時00分 場 所 横浜地方裁判所売却場
売却決定 期日	日 時 令和 8年 9月28日 午後 1時10分 場 所 横浜地方裁判所第3民事部
特別売却 実施期間	令和 8年 9月24日 午前10時00分から 令和 8年 9月24日 午後 3時00分まで
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所所定の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、株式会社商工組合中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限(民事執行規則33条)	☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和8年 7月30日から当庁物件明細等閲覧室に備え置きます。	

物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和7年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1	11,350,000 9,080,000		2,270,000	62,503	13,393



物 件 目 録

1 (一棟の建物の表示)

所 在 横浜市鶴見区本町通四丁目 171 番地 17

建物の名称 ライオンズマンション鶴見本町通り

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 本町通 171 番 17 の 404

建物の名称 404

種 類 居宅

構 造 鉄骨鉄筋コンクリート造 1 階建

床 面 積 4 階部分 50.01 平方メートル

(敷地権の目的である土地の表示)

土地の符号 1

所在及び地番 横浜市鶴見区本町通四丁目 171 番 17

地 目 宅地

地 積 1375.74 平方メートル

(敷地権の表示)

土地の符号 1

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 51 万 6656 分の 5415



物 件 明 細 書

令和 8年 5月11日

横浜地方裁判所第3民事部

裁判所書記官 岡 村 乾

1 不動産の表示

【物件番号1】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号1】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号1】

本件所有者が占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

【物件番号1】

管理費等の滞納あり。

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等が全て本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」を御覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。



物 件 目 録

1 (一棟の建物の表示)

所 在 横浜市鶴見区本町通四丁目171番地17

建物の名称 ライオンズマンション鶴見本町通り

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 本町通171番17の404

建物の名称 404

種 類 居宅

構 造 鉄骨鉄筋コンクリート造1階建

床 面 積 4階部分 50.01平方メートル

(敷地権の目的である土地の表示)

土地の符号 1

所在及び地番 横浜市鶴見区本町通四丁目171番17

地 目 宅地

地 積 1375.74平方メートル

(敷地権の表示)

土地の符号 1

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 51万6656分の5415



令和7年(ケ)第438号
令和8年2月18日受理
令和8年4月17日提出

現況調査報告書

横浜地方裁判所

執行官 山崎郁雄

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

1 (一棟の建物の表示)

所 在 横浜市鶴見区本町通四丁目171番地17

建物の名称 ライオンズマンション鶴見本町通り

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 本町通171番17の404

建物の名称 404

種 類 居宅

構 造 鉄骨鉄筋コンクリート造1階建

床 面 積 4階部分 50.01平方メートル

(敷地権の目的である土地の表示)

土地の符号 1

所在及び地番 横浜市鶴見区本町通四丁目171番17

地 目 宅地

地 積 1375.74平方メートル

(敷地権の表示)

土地の符号 1

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 51万6656分の5415



不 動 産 の 表 示	「物件目録」のとおり	
住 居 表 示	(住居表示未実施)	
建 物	物件 1	
種類、構造及び 床面積の概略	☒ 公簿上の記載とほぼ同一である ☐ 公簿上の記載と次の点が異なる (☐ 主たる建物 ☐ 附属建物) ☐ 種 類 : ☐ 構 造 : ☐ 床面積 :	
物件目録にない 附属建物	☒ ない ☐ ある { 種 類 : 構 造 : 床面積 :	
占有者及び 占有状況	☒ 建物所有者 ☐ その他の者 上記の者が本建物を 居宅 として使用している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり	
管理費等の状況	☐ 別紙回答書のとおり 管理費月額 10,500円 修繕積立金月額 13,050円 自転車置場使用料 年額 3,500円 円	令和 8 年 3 月 1 9 日現在 ☐ 滞納はない ☒ 滞納がある 令和 6 年 9 月分～同 8 年 3 月分 計 427,400円 ☐ 不明
管理費等照会先	株式会社大京アステージ川崎支店	
その他の事項		
敷 地 権	符号 1	
現 況 地 目	☒ 宅地 (符号 1) ☐ 公衆用道路 (符号) ☐ (符号)	
形 状	☒ 公図のとおり ☐ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面 (各階平面図) のとおり ☐ 土地建物位置関係図のとおり ☐	
敷地権の種類	☒ 所有権 (符号 1) ☐ 地上権 (符号) ☐ 賃借権 (符号) ☐ (符号)	
その他の事項		
執行官保管の 仮 処 分	☒ ない ☐ ある [地方裁判所 支部 令和 年 () 第 号 保管開始日 令和 年 月 日	
敷地権以外の土地 (目的外土地)	☒ ない ☐ ある (詳細は「目的外土地の概況」のとおり)	
土地建物の位置関係	☒ 建物図面 (各階平面図) のとおり ☐ 土地建物位置関係図のとおり	

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
■ 債務者兼所有者	1 本建物には、私が家族と居住している。 2 競売開始決定は見えていない。郵便局の不在通知を確認してみる。 3 立入調査が必要なことは承知した。私が立ち会う。4月なら仕事の調整ができると思う。 (令和8年3月5日電話で聴取)
■ 債務者兼所有者	1 本建物に雨漏り等大きな破損部分はない。 2 和室の襖に損傷がある。 3 本建物内でペットは飼っていない。 4 本建物内でタバコは喫っていない。 5 騒音はない。 (令和8年4月10日目的物件で聴取)

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

執 行 官 の 意 見

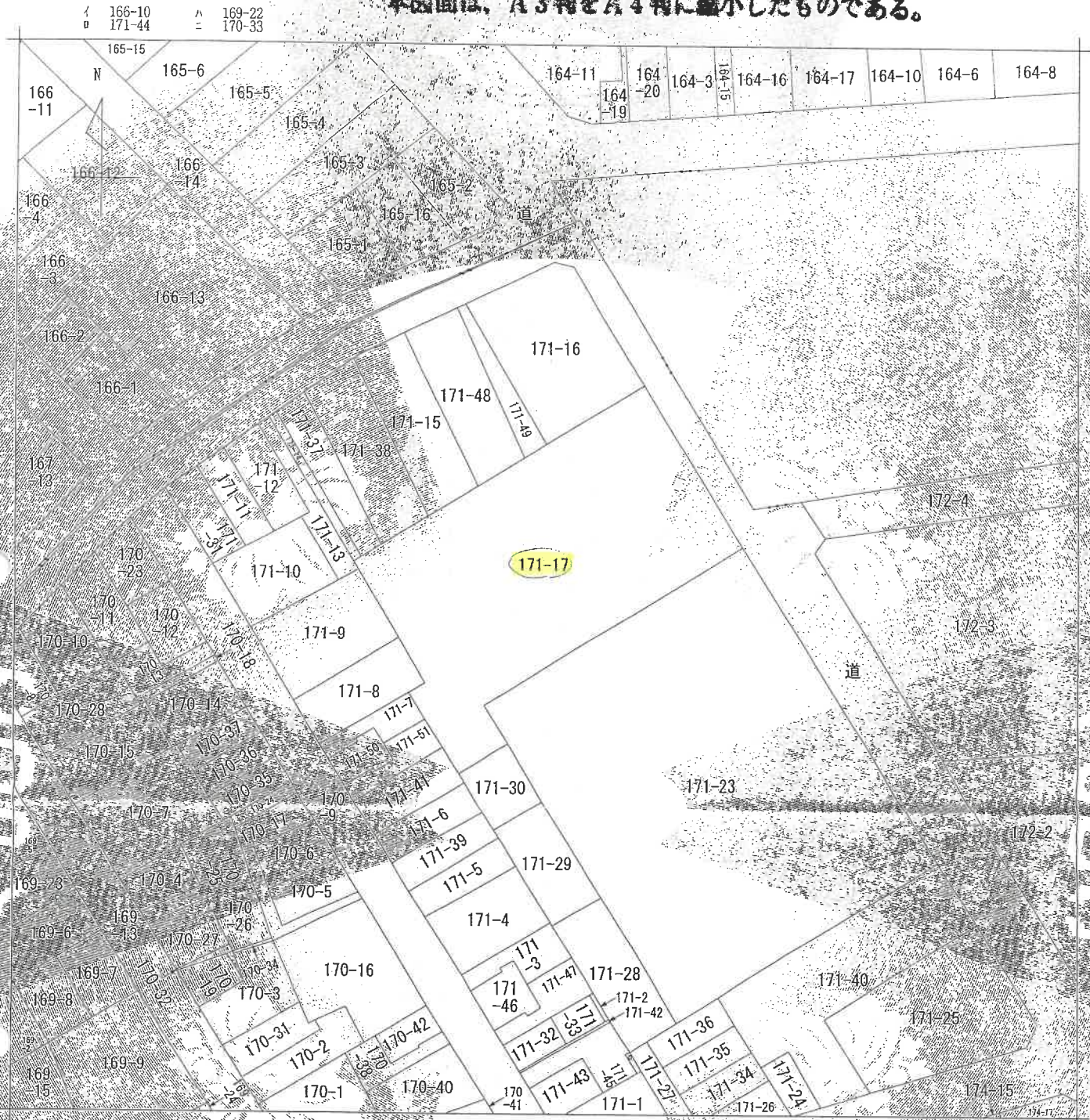
- 1 受命物件の状況は、建物図面（各階平面図）、間取見取図及び添付写真のとおりである。
- 2 受命物件の占有状況については、関係人の陳述及び立入調査の結果等から、2枚目記載のとおりと認めた。なお、2階エントランス脇の表示版の404号室部分には、債務者兼所有者の氏が表示されていた。
- 3 和室の襖に損傷がある。
- 4 本件敷地は、北東側で建築基準法42条1項2号の市道に接している（評価人の調査による）。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

調 査 の 経 過		
調 査 の 日 時	調 査 の 場 所 等	調 査 の 方 法 等
令和8年2月20日(金) 12:15 — 12:25	目的物件所在地	外観調査(写真撮影)、不在、通知書投函
令和8年3月4日(水) 9:20 — 9:25	横浜地方法務局神奈川出張所	登記事項証明書、登記事項要約書申請・受理
令和8年3月4日(水) 10:05 — 10:10	目的物件所在地	外観調査、不在、通知書投函(再度)
令和8年3月4日(水) : — :	当裁判所	管理会社へ滞納管理費照会書FAX送信
令和8年3月5日(木) 13:10 — 13:20	携帯電話	債務者兼所有者より占有状況等聴取
令和8年4月10日(金) 9:40 — 9:55	目的物件所在地	目的物件立入調査(写真撮影)、債務者兼所有者より占有状況等聴取(評価人同行)
令和 年 月 日(木) : — :		
(特記事項) ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていると予想されたので、立会人 及び解錠技術者を同行して臨場した。 ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていたので、立会人 を立ち合わせ、技術者に解錠させて建物内に立ち入った。 ☐ 令和 年 月 日 休日・夜間執行許可の提示をした。 ☐		

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

本図面は、A3判をA4判に縮小したものである。



(注) 地図に準ずる図面は、土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間、これに代わるものとして備え付けられている図面で、土地の位置及び形状の概略を記載した図面です。



請求 部分	所 在	横浜市鶴見区本町通四丁目				地 番	171番17				
出 力 縮 尺	1/600	精 度 区 分		座 標 系 番号又は 記号		分類	地図に準ずる図面			種類	土地区画整理所在図
作 成 年月日					備 付 年月日 (原図)				補 事 記 項		

これは地図に準ずる図面に記録されている内容を証明した書面である。

令和7年12月10日

横浜地方方法務局地籍課出張所

登記官

請求番号：16-1

(1/1)

(6 枚目)

登記年月日 平成3年3月5日

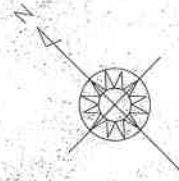
216747 各階平面図

建物図面

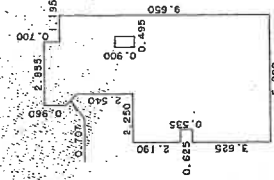
家屋番号 本町通4丁目171番17
の404

建物の所在地 横浜市中区本町通4丁目171番地17

1m.m.m



建物番号 404



求積表

3.625	X	0.625	=	2.265625	
2.190	X	0.625	=	1.368750	
5.350	X	0.625	=	10.318750	
0.950	X	0.500	X 1/2	=	0.605000
0.350	X	2.355	=	24.374250	
9.650	X	1.195	=	11.531750	
0.900	X	0.495	=	0.445500	
合 計				50.01625	
合 計				50.01625	

←○ は写真撮影位置・方向

道

道

171-16

171-15

171-17

12.475

171-23

-13

-14

-37

-38

-10

-9

-8

-7

-6

-30

建物の存在する部分 4階

縮尺 1/500

申請人

面積 12.56

2月21日

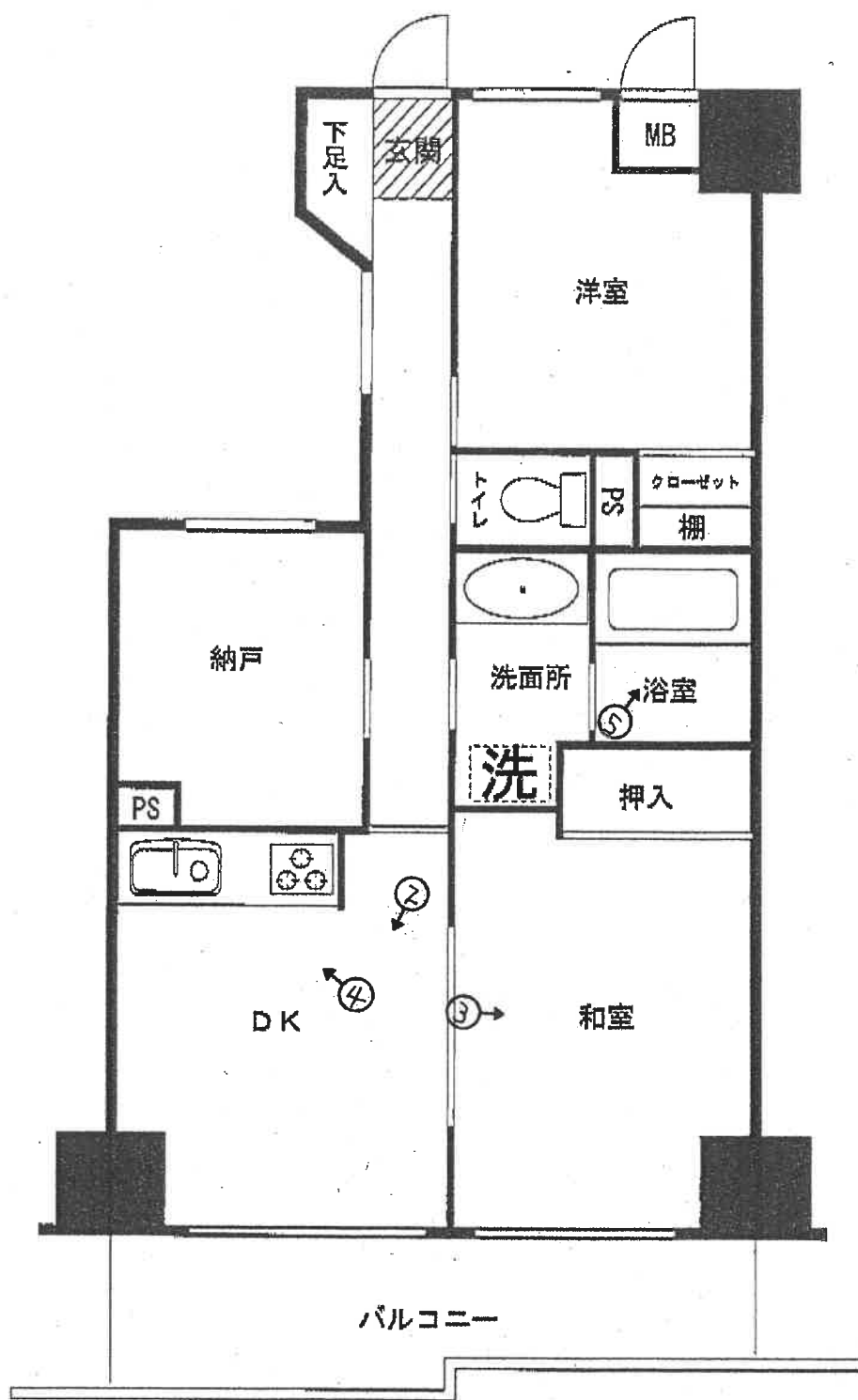
作成者

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。
令和7年12月10日 横浜地方裁判所審判部審判

登記簿

(7枚目)

請求番号: 16-2



間取見取図



←○ は写真撮影位置・方向

① 物件1を含む一棟の建物



②



③



④



⑤



(// 枚目)



令和 7 年 (ケ) 第 438 号
令和 8 年 4 月 10 日 現地調査
令和 8 年 4 月 17 日 評価

横浜地方裁判所

評 価 書

評価人 不動産鑑定士
佐藤 実

第1 評価額

物件番号	評 価 額
1	金 11,350,000円

第2 評価の条件

1. 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。

したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較して競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件の内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続きをとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。

2. 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。

3. 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。

4. 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法 58 条 4 項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

番号	登 記	現 況
1	次頁物件目録記載のとおり	
特 記 事 項		

* 現況欄に記載のない事項については、ほぼ登記記載と同じである。

物 件 目 録

1 (一棟の建物の表示)

所 在 横浜市鶴見区本町通四丁目171番地17

建物の名称 ライオンズマンション鶴見本町通り

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 本町通171番17の404

建物の名称 404

種 類 居宅

構 造 鉄骨鉄筋コンクリート造1階建

床 面 積 4階部分 50.01平方メートル

(敷地権の目的である土地の表示)

土地の符号 1

所在及び地番 横浜市鶴見区本町通四丁目171番17

地 目 宅地

地 積 1375.74平方メートル

(敷地権の表示)

土地の符号 1

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 51万6656分の5415

第4 目的物件の位置・環境等

1. 土地の概況及び利用状況等

位 置 ・ 交 通	J R 鶴見線「鶴見小野」駅の北東方約600m (道路距離) に位置する。(附属資料「位置図」参照)	
付 近 の 状 況	店舗付共同住宅のほか、一般住宅等も見られる商住混在地域。	
主 な 公 法 上 の 規 制 等 (道路の幅員等の 個別的な規制を考 慮しない一般的な 規制)	都市計画区分 用 途 地 域 建 蔽 率 容 積 率 防 火 規 制 その他の規制	市街化区域 商業地域 80% 400% 準防火地域 第7種高度地区、宅地造成等工事規制区域
画 地 条 件 (規模，形状等)	規 模 形 状 間 口 ・ 奥 行 地 勢	1375.74㎡ 不整形 間口約28m、奥行約54m ほぼ平坦
接面道路の状況	北東側幅員約8m舗装市道(建築基準法第42条1項)に約28m接面。	
土地の利用状況等	対象専有部分を含む1棟の建物の敷地等として利用。	
供 給 処 理 施 設	上水道	あり
	都市ガス	あり
	下水道	あり
敷 地 権 の 表 示	敷地権の種類	所有権
	敷地権の割合	51万6656分の5415
特 記 事 項	◇横浜市の洪水・内水・高潮ハザードマップによると浸水想定区域内にある。	

2. 建物の概況

(1) 一棟の建物の概要

マンション名	ライオンズマンション鶴見本町通り	
建物の用途	住宅等（総戸数70戸）（登記記載）	
建築時期及び経済的 残存耐用年数	建築年月日	平成3年1月11日（登記記載）
	経過年数	約36年
	経済的残存耐用年数	約19年
構造・延床面積	鉄骨鉄筋コンクリート造地下1階付10階建 延べ 6,129.67㎡	
仕様	屋根：アスファルト防水 外壁：タイル貼、一部吹付タイル等	
設備	オートロック、エレベーター1基、TV共同視聴設備、駐車場、駐輪場、集合郵便受、ゴミ置場等	
建物の品等	使用資材	普通
	施工	普通
管理の形態等	管理組合	あり
	管理方式	委託
	管理会社	株式会社大京アステージ
	管理形態	日勤
管理の状況	普通	
特記事項	◇なし	

(2) 専有部分の概要

構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造1階建		
位 置	4階 (404号室) ・ 中間住戸 主要開口部の方位：南東向き		
床 面 積	50.01㎡（登記面積）		
間 取 り	2DK＋納戸		
バルコニー等	バルコニー：8.08㎡		
仕 様	天 井 床 内 壁 設 備	ビニールクロス貼等 フローリング、畳等 ビニールクロス貼等 浴室、トイレ、洗面所、クローゼット等	
保守管理の状態	普通		
管 理 費 等	管理会社の回答によれば下記のとおり。 令和8年3月19日現在		
		月 額	滞 納 額
	管 理 費	10,500 円	189,000 円
	修 繕 積 立 金	13,050 円	234,900 円
	自転車置場使用料	3,500 円（年額）	3,500 円
専 有 部 分 の 利 用 状 況 等	令和8年4月10日：内部立入調査 所有者が占有している。		
特 記 事 項	◇和室の襖に破れている箇所がある。		

第5 評価額算出の過程

本件においては積算価格、比準価格及び収益価格をそれぞれ求め、試算価格を調整のうえ、評価額を後記のとおり決定した。

1. 積算価格の試算

建物の価格に、敷地権価格を加算して、積算価格を試算した。

(1) 建物価格

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて建物価格を求めた。

再調達原価 (円/㎡)	専有面積 (㎡)	専有率	現 価 率	建 物 価 格 (円)
350,000	×50.01	÷0.79	×0.28	=6,200,000

専有率：共用部分も含む現況床面積に対する割合

現価率：経過年数 36 年、経済的残存耐用年数 19 年、

観察減価率(中古マンションの市場性等含む) 20%

：耐用年数に基づく方法と観察減価法を併用し、現価率を下記のとおり
査定した。

$$\text{現価率} = \frac{\text{経済的残存耐用年数 19 年}}{(\text{経過年数 36 年} + \text{経済的残存耐用年数 19 年})} \times (1 - 0.2) = 0.28$$

(2) 敷地権価格（符号 1 の土地）

敷地権の目的である土地の敷地権価格を次の通り求めた。

標準画地価格 (円/㎡)	個別 格差	更地価格 (円/㎡)	地 積 (㎡)	建付 減価	敷地権割合	敷地権価格 (円)
329,000	×1.27	418,000	×1375.74	×1.00	$\times \frac{5,415}{516,656}$	= 6,030,000

標準画地価格：標準画地価格は下記の規準価格を中心に、その他の価格資料等を斟酌して決定した。

地価調査地 鶴見（県）5-3

$$\begin{array}{ccccccc}
 & & & \text{標準化} & & & \\
 \text{地価調査価格} & & \text{時点修正} & \text{補 正} & \text{地域格差} & \text{標準画地価格} & \\
 300,000 \text{ 円/㎡} & \times & \frac{102}{100} & \times \frac{100}{100} & \times \frac{100}{93} & = & 329,000 \text{ 円/㎡}
 \end{array}$$

◇時点修正：令和 7 年 7 月 1 日から評価日までの推定変動率である。

◇標準化補正：地価調査地は標準的画地で補正の必要はない。

◇地域格差：地価調査地の所在する地域は対象地域に比べ接近条件、環境条件、行政条件等の総合格差で上記の通り。

個別格差：目的土地は形状、規模等の総合格差で上記の通り。

地積：登記数量

建付減価：建付減価率 0%と判定した。

敷地権割合：登記上の敷地権割合による。

(3) 積算価格（敷地権付建物の価格）

前記で求めた基礎となる建物価格と敷地権価格を合算した額に、所要の修正を行った上、積算価格を求めた。

建物価格（円）	敷地権価格（円）	個別格差 （階層・位置・品等程度）	積算価格（円）
6,200,000	+6,030,000	×0.99	=12,110,000

個別格差：階層別補正、位置別補正などの総合格差で上記の通り。

階層別補正：0.99（4階）

位置別補正：1.00（南東向、中間戸）

その他補正：1.00

相乗積 $0.99 \times 1.00 \times 1.00 = 0.99$

2. 比準価格の試算

基準階の比準 価格（円/㎡）	個別格差 （階層・位置・品等程度）	その他の 個別格差	専有面積 （㎡）	比準価格(円)
370,000	×0.99	×1.00	×50.01	=18,320,000

基準階の比準価格：近隣地域・同一需給圏内の類似地域にある同類型の区分所有建物の取引事例等を収集・分析し、各種補正及び価格形成要因の比較を行って、基準階専有部分の1㎡当たりの比準価格を査定した。

個別格差：積算価格の個別格差に同じ。

その他の個別格差：なし

3. 収益価格（DCF法による）

目的物件を賃貸することにより分析期間中に得られるであろうと予測される正味純収益の現価の合計額に、分析期間末の正味復帰価格の現価を加算して、DCF法（Discounted Cash Flow 法）による価格を以下の通り査定した。

DCF法による価格査定表

(この表で採用している数字や指数は確定値ではなく、且つ買受人に保証しているものでもない)

3年間の 有効純収 益 現価の合 計 円 ア	正味復帰価格の現価					DCF法 による価格 (円) ア+カ キ
	4年目期首 有効純収 益 (円) イ	最終 還元利回 り ウ	3年目期末 復帰価格 (円) イ÷ウ×(1-0.03) ※1 エ	複利 現価率 ※2 (7.7%) オ	正味復帰 価格の現価 (円) エ×オ カ	
1,454,926 (15.6%)	828,800	8.2 %	=9,804,098 9,800,000	0.8005	7,844,900 (84.4%)	=9,300,000 (100%)

※1 売却に要する仲介手数料等を売却価格（イ÷ウ）の3%と査定した。

※2 複利現価率：複利現価率に用いる還元利回りは一般市場における収益物件の標準的な還元利回りを基準として決定した。

ア：目的物件を賃貸することにより保有期間中（第1期～第3期）に得られるであろうと予測した各期の正味純収益を現在価値に割り引いた額の合計である。

イ：保有期間末（第4期期首）の正味純収益である。売却準備完了後の目的物件の収益力を明示している。

ウ：4年目の正味純収益から売却予測価格を求める還元利回りであり、標準的還元利回りに目的物件の個別リスクを考慮して査定した。

エ：4年目の正味純収益を最終還元利回りで還元して求めた売却予測価格から目的物件の売却に伴う仲介手数料相当額を控除した額である。

オ：一般市場及び競売市場における類型別収益物件の標準的な還元利回り等を参考に査定した。

カ：売却予測価格の手取り価格に複利現価率を乗じて（割り引いて）求めた売却予測価格（手取り価格）の現在価値である。

キ：保有期間中の正味純収益の現価の合計(ア)に売却予測価格の現価(カ)を合算して、目的物件のDCF法による収益価格を結論付けている。

4. 評価額の判定

(1) 試算価格の調整

以上により積算価格、比準価格、収益価格が求められた。マンション取引が多くみられることから、市場の実勢を反映した比準価格を重視し、積算価格を関連づけ、収益価格を参考として所要の調整を行ったうえ、調整後の価格を以下の通り求めた。

加重平均割合 積算価格：40 比準価格：50 収益価格：10

	占有減価修正前の 試算価格（円）	占有減価修正	試算価格（円）
積算価格	12,110,000	×1.00	=12,110,000
比準価格	18,320,000	×1.00	=18,320,000
収益価格	9,300,000		
調整後の価格			14,930,000

占有減価修正：必要なし。

(2) 評価額の判定

調整後の価格 （円）	市場性 修正	競売市場 修正	滞納管理費 等相当額の 減価	その他の控 除減価（敷 金等）	評 価 額 （円）
14,930,000	×1.0	×0.8	×0.95	— 0	=11,350,000

市場性修正：必要なし。

競売市場修正：評価条件記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮した。

滞納管理費等相当額の減価：滞納管理費等の控除割合は、管理費・修繕積立金滞納額の元本のみを基礎に5%と求めた。

その他の控除減価（敷金等）：必要なし。

第6 参考価格資料

1. 地価調査地 鶴見（県）5-3

所 在：横浜市鶴見区仲通1丁目57番3

価 格：300,000円／㎡

位 置：JR京浜東北・根岸線「鶴見」駅約1.4km

価 格 時 点：令和7年7月1日

地 積：89㎡

供給処理施設：水道、ガス、下水

接 面 道 路：北側15m市道

用途指定等：近隣商業地域（建蔽率80%，容積率300%）、準防火地域、高度地区

地域の概要：小規模の小売店舗等が建ち並ぶ既成近隣商業地域

2. 固定資産税評価額（令和7年度）

物件1（建物） 4,464,545円

符号1（土地） 256,590,643円（敷地権割合51万6656分の5415）

第7 附属資料の表示

位置図

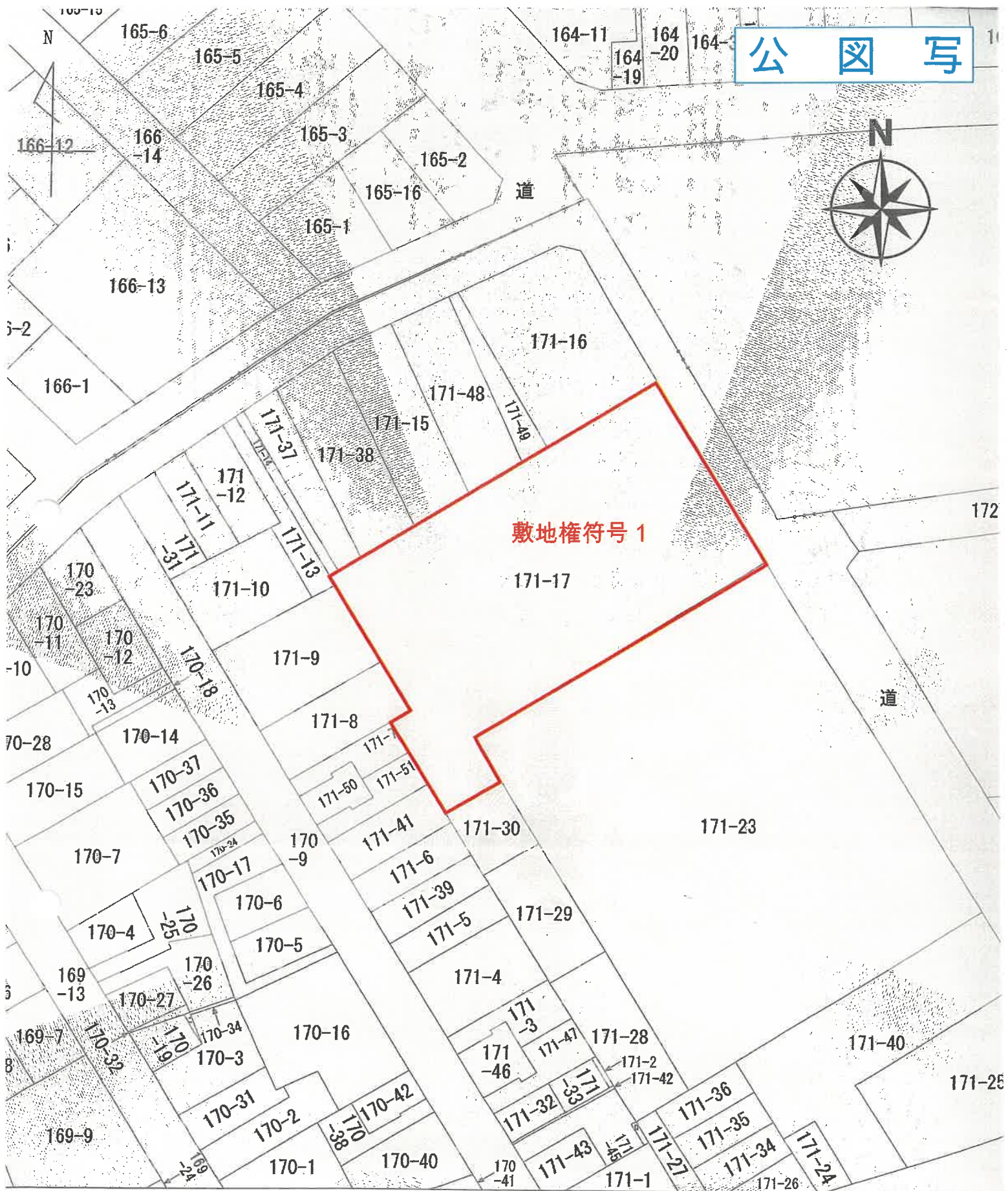
公図写（目的物件をA4判へ抜粋したものである。）

建物図面・各階平面図写（本図面はA3判からA4判へ縮小したものである。）

建物間取図

以 上

縮尺 : 1 / 10,000



縮尺 : 1 / 600

建物図面・各階平面図写

登記年月日：平成3年3月5日

216747 各階平面図

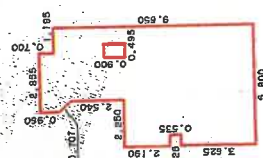
建物図面

家屋番号
本町通4丁目171番17
404

建物の所在
横浜市鶴見区本町通4丁目171番地17

建物番号 404

専有部分



求積表

3.625 X 0.625	=	2.265625
2.190 X 0.625	=	1.368750
6.350 X 1.625	=	10.318750
(0.960 + 1.460) X 0.500 X 1/2	=	0.605000
10.350 X 2.355	=	24.374250
9.660 X 1.195	=	11.531750
0.900 X 0.495	=	0.445500
合計		50.018625
床面積		50.01 m ²

専有部分

建物の存する部分4階

縮尺 1/500

申請人

縮尺 1/250

作製者

これは図面に記録されている図面を証明した書面である。
令和7年12月10日 横浜地方支庁局神奈川出張所

登記官

請求番号：16-2

70%に縮小

建物間取図

